

機能による相槌の分類

井上恵利佳 (九州大学文学部) ・ 原田祐介 (九州大学人文科学府) ・
 上山あゆみ (九州大学人文科学研究院)

はじめに

会話を円滑に進めるためには、相槌が不可欠である。相槌については、従来、水谷 (1988) やメイナード (1993)、陳 (2002)、吉田ほか (2009) など様々な研究があるが、以下では、曹 (1994: 64) の「発話の中で発話順番を変えず、話し手の発話に対し、「同意している」あるいは、「話をうながす」などというある特定の機能を持ち、自由意志に基づいて、使われている表現」という定義に基づき、様々な相槌表現について考察する。相槌には感動詞や応答、繰り返しなど多くの形式が存在するが、本発表では形式よりも、相槌が持つ機能に着目し、その機能ごとに、具体的にどのような関係性のときにどの相槌表現が使用可能かをまとめる。なお、以下では、話の主導権を握っている人を「話し手」、相槌を打つ人を「聞き手」と呼ぶ。

相槌表現の分類と関係性

相槌は実に様々な種類があり、それらを雑多に挙げているだけでは收拾がつかなくなる。以下では、相槌の起こりやすい場面として、(1) の2つを取り上げる¹。

- (1) a. 話し手の事実報告に対する相槌
- b. 話し手の感情表出に対する相槌

相槌としてどの表現が使えるかを考察する際に無視できないのが、話し手と聞き手の関係性である。関係性によっては全く同じ相槌でも使える場合と使えない場合がある。

- (2) 部下: 先月の成績が良かったです。

上司: ok でかした / ok よくやった / ok 頑張ったね

- (3) 親友: 先月の成績が良かったんだ。
 親友: *でかした / *よくやった / ok 頑張ったね

例えば、(4) のような関係性を最低限区別すべきであろう。

- (4) A. 上司に話しかけられたときの部下の相槌
- B. 知人に話しかけられたときの知人の相槌
- C. 生徒に話しかけられたときの教師の相槌
- D. 部下に話しかけられたときの上司の相槌
- E. 親に話しかけられたときの子の相槌
- F. 親友に話しかけられたときの親友の相槌

ただし、以下では紙幅が限られているので、この点については割愛する。

事実報告に対する相槌

事実報告に対する相槌としては、聞き手の反応として、大きく「驚く」「ほめる」「労う」「心配する」「受け流す」の5つに分けられる。

驚く

話し手の事実報告に対して聞き手が驚いたときの相槌としては、(5) のようなものがある。

- (5) うそ / しまった / さすが / あ〜 / すごい (ですね) / そうなんだ (ですか) / どうして (ですか) / そうだった (でした) / なるほど

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

¹ もう1つ特徴的な場面としては、話し手が聞き手をほめたときに、謙遜して、それを否定する(ふりをする)相槌

がある。これについては、上野ほか (2020) がその使い分けについて述べている。

- (6) A: 教室の電気が消えてなかったんだけど。
 B: ok あ〜/ok しまった/ok うそ
 *すごい/*なるほど/*さすが
 ?そうなんだ/?へ〜
- (7) A: 先週、大学辞めたんだけどね。
 B: ok えっ/ok どうして/ok うそ
 *すごい/*さすが(素直)/*しまった
 ?さすが(皮肉)/?なるほど(納得)
 /?そうだった(旧情報)

「驚き」の相槌表現は様々であり、感動詞、形容詞、名詞、疑問詞がそれぞれ単体で現れる場合もあれば、短めの文章や定型表現で現れることもある。

ほめる

話し手の事実報告に対して聞き手がほめたときの相槌としては、(8) のようなものがある。

- (8) さすが/すばらしい(ですね)/いい
 (です)ね/すごい(です)ね/すごっ
 具体的な会話例は以下に示すとおりである。
- (9) A: クリスマスには毎年ブッシュドノエルを作るの。
 B: ok いいね/ok すごい(ね)/ok すごっ
 *すばらしいですね
 ?さすが
- (10) A: 今日は新しく買った服を着ていこうと思
 うんだ。
 B: ok いいね/ok いいですね
 *すごい/*すばらしいですね

劳う

話し手の事実報告に対して聞き手が劳ったときの相槌としては、(11) のようなものがある。

- (11) さすが/でかした/よくやった/頑張
 ったね/お疲れ様(です)/ご苦労様(で
 す)/すごい(です)ね/大変だね(で
 すね)/助かる(よ)/助かります/あ
 りがとう(ございます)

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (12) A: 昨日朝から1日中バイトで、ほんと疲
 れたー。
 B: ok お疲れ様/ok ご苦労様/ok 大変だね
 /ok 頑張ったね/ok すごいね
 *でかした/*よくやった/*助かるよ/*
 ありがとう
 ?さすが

(12) で「さすが」が使えるのは、話し手が日頃からバイトばかりしている場合である。次のような例もある。

- (13) A: 洗濯物取り込んどいたよ。
 B: ok お疲れ様/ok ご苦労様/ok 助かるよ
 /ok ありがとう
 *大変だね/*でかした/*よくやった
 ?すごいね/?さすが/?頑張ったね

(13) において、「すごいね/さすが/頑張ったね」の容認性は必ずしも高くないかもしれないが、話し手が小さい子供の場合ならば、十分容認可能である。

心配する

話し手の事実報告に対して聞き手が心配したときの相槌としては(14) のようなものがある。

- (14) マジ?/やばくない?/確かにね/お大
 事に/お気の毒に/大変だ(です)よね
 /大丈夫(ですか?)/かわいそうだ
 (です)よね/そうだ(です)よね

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (15) A: 明日までのレポートがまだ3つあるんで
 すよ。
 B: ok 大変だね/ok 大丈夫?/ok お気の毒
 に/ok マジ?/ok やばくない?
 *かわいそうだよね/*確かにね
 ?そうだよね/?そうだね

「そうだよね/そうだね」は聞き手も同じ状況の場合にのみ使える。

受け流す

話し手の事実報告を聞き手が受け流したときの相槌としては (16) のようなものがある。

- (16) そっかー／そっかそっか／そんなもんじゃ
ない／はいはい／まあいいんじゃない
／ふーん／そうだね（ですね）／そんな
んだ（ですね）／知ってる／らしいね／
分かった

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (17) A: 先週〇〇のライブに行ったんだけど…。
B: ok ふーん／ok そっかー／ok そっかそっ
か／ok そうなんだ
*そうだね／*そんなもんじゃない／*ま
あいいんじゃない
?知ってる／?らしいね

感情表出に対する相槌

事実報告の場合には、その認知を示すのが相槌の
主な機能であったが、話し手が感情表出をした場合
には、それに対する同調を示すことが多くなる。以
下では、「話し手の喜びに同調する」「話し手の怒
りに同調する」「話し手の心配に同調する」「受け
流す」の4つに分けて提示する。

話し手の喜びに同調する

話し手の感情表出（喜び）に聞き手が同調したと
きの相槌としては (18) のようなものがある。

- (18) いいな／さすが／頑張ったね／おめでと
う（ございます）／いい（です）ね／よ
かった（です）ね／すごい（です）ね

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (19) A: オリンピックのチケットあたってんだ。
B: ok よかった（です）ね／ok すごい（で
す）ね／ok いい（です）ね
*頑張ったね
?いいな／?おめでとう／?さすが

(19) の「いいな／おめでとう／さすが」は、話し手

と聞き手の関係性が浅くないときにのみ使える。次
のような例もある。

- (20) A: テストで100点とったんだ。
B: ok おめでとう（ございます）／ok すご
い（です）ね
*いいですね
?頑張ったね／?さすが／?よかったね

(20) の「頑張ったね／さすが／よかったね」は、話
し手と聞き手の関係性が浅くないときにのみ使える。

話し手の怒りに同調する

話し手の感情表出（怒り）に聞き手が同調したと
きの相槌としては (21) のようなものがある。。

- (21) うわー／最低だ（よ）ね／さすがにね／
ちょっとね／あれ（それ）はない（よ）
ね／確かに／ひどい（です）（よ）ね／
あんまりだ（です）（よ）ね／ありえな
い（です）（よ）ね

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (22) A: Cがうちの悪口言ってたんだよ。
B: ok ちょっとね／ok 最低だよ／ok あれ
はないよね／ok ありえないよね／ok ひ
どいよね／ok あんまりだよ
*だよ／*全くだね／*確かに
?それはないね／?ありえないね／?ひど
いね／?あんまりだね

聞き手が事実を知らない場合は、「あれはないよね
／ありえないよね／ひどいよね／あんまりだよ」
よりも「それはないね／ありえないね／ひどいね／
あんまりだね」の方が適切になり得る。次のような
例もある。

- (23) A: バイトの後輩がシフトすっぽかしたって
件ひどくない？
B: ok うわー／ok 最低だね／ok さすがにね
／ok あんまりだね／ok ひどいね
?最低だよ／?あんまりだよ／?ひど
いよね／?確かに

怒りの事情が聞き手にも関係する場合は、「うわー／最低だね／さすがにね／あんまりだね／ひどいね」よりも「最低だよね／あんまりだよね／ひどいよね／確かに」の方が適切になり得る。

話し手の心配に同調する

話し手の感情表出（心配）に聞き手が同調したときの相槌としては (24) のようなものがある。

- (24) 確かにね／お気の毒に／大変だ（です）よね／無理もない（です）よ／大丈夫（ですか？）／かわいそうだ（です）よね／そうだ（です）よね

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (25) A: また大雨で土砂崩れが起きたりしたらと思うとすごく怖くて…。

B: ok そうだよね／ok 確かにね／ok 無理もないよ／ok 大丈夫？

*お気の毒に／*大変だね

?かわいそうだよね／?大変だよね

「お気の毒に／大変だね」は突き放しているような印象を与えてしまうので、不適切である。また、「かわいそうだよね／大変だよね」は心配の対象が第三者である場合にのみ使える。

受け流す

話し手の感情表出を聞き手が受け流したときの相槌としては (26) のようなものがある。

- (26) そっかー／そんなもんじゃない／はいはい／まあいいんじゃない／ふーん／そうだね（ですね）／そうなんだ（ですね）

具体的な会話例は以下に示すとおりである。

- (27) A: C の服って个性的で私には理解できないわ。

B: ok ふーん／ok そっかー／ok そんなもんじゃない／ok そうなんだ

*まあいいんじゃない

?はいはい

「はいはい」は A が何度も同じ話をしている場合にのみ使える。

おわりに

以上、さまざまな相槌表現を機能の面から分類して提示した。今後、この分類に基づいて、実際の会話コーパスを分析し、この分類をさらに充実させていきたい。

謝辞

本発表は、九州大学文学部において 2019 年度に開講された「言語学・応用言語学演習Ⅱ」の演習内容に基づいている。意見やコメントを頂いた同演習の受講生に感謝申し上げます。また、本発表はソフトバンクロボティクス株式会社との共同研究の助成を受けたものである。

参考文献

- 上野聡子・上山あゆみ (2020) 「謙遜の相槌とほめの対象」言語処理学会第 26 回年次大会 提出原稿。
- 曹永湖 (1994) 「談話における相づちの運用と機能」『東北大学文学部日本語学科論集』4: 63-74.
- 陳姿菁 (2002) 「日本語におけるあいづち研究の概観及びその展望」『言語文化と日本語教育. 増刊特集号, 第二言語習得・教育の研究最前線』222-235.
- 水谷信子 (1988) 「あいづち論」『日本語学』7(13): 4-11.
- メイナード泉子 (1993) 『会話分析』柴谷方良・西光義弘・影山太郎 (編) 日英語対照研究シリーズ (2). 東京: くろしお出版.
- 吉田奈央・高梨克也・伝康晴 (2009) 「対話におけるあいづち表現の認定とその問題点について」言語処理学会 (編) 『言語処理学会第 15 回年次大会発表論文集』430-433. 東京: 言語処理学会.